

平成18年11月6日

合法木材マークに関する意見

製紙連合会林材部長

渡辺 光一

標題の当方意見を集約しましたのでお送りします。

(合法木材マークに関する意見について)

- ・マークには責任を伴うものと考えているが、現状では厳密な意味での「証明」は非常に難しい。改正グリーン購入法は、合法性証明の難しさを承知の上でスタートし、運用しながら改善を図るものと理解している。従って、現状での「合法性マーク」は妥当と思えない。
- ・関係者の合意ができていない状況で、マークのデザイン作成を先行させることも不適切と考える。
- ・認証類似のものを中途半端に企画することは、混乱を助長するものと思料される。
- ・独自の取り組みを採用している製紙会社は本件にかみ合わない可能性が懸念される。
- ・使用基準、責任等が不明確であるのに、性急に推し進めようとするには賛成しかねる。十分な検討を重ね、関係者の合意を得たうえで導入すべきである。

以上